



F4地方選手権は東西ともにすでに4戦を終了し、8戦すべてを制した牧野任祐が西シリーズのチャンピオンを獲得した。すでに王座が埋まってしまう東日本シリーズ、富士スピードウェイが舞台の最終戦には、新たに今季初エントリーの顔ぶれもあり、これまでの4戦とは違うフレッシュな雰囲気が出ていた。

余裕ゼロだったトップ金井

予選で最初にトップに立ったのは久々の参戦を果たした栗原正之だったものの、すぐに金井亮忠が逆転。ベストタイムを更新し続けていたが、中盤になって上回ってきたのが加藤智だった。金井もまたその後タイムアップを果たすも、加藤に及ばず、最後にだめ押しの一発で引き離されてしまう。

「若い連中がいらないから獲れましたが、3年やって一度も勝っていませんので、そろそろ勝ちたいですね」と自分に言い聞かせるように語っていた加藤。これに金井が続いて、3番手は中山雅佳で、4番手が早坂公希。後半の伸びを欠いた栗原は5番手に留まった。

15周で争われる決勝で、ポールシッター加藤は好スタートを切るが、金井も負けず劣らず。その後方ではスタートで1台を、そしてコカ・コーラコーナーでも1台をかわした栗原の姿があった。金井はダンロップコーナーでも早くも仕かけるが、加藤はしっかりガードしてポジションを守る。しかし、2周目の同じダンロップコーナーでの攻めには耐え切れず、金井の逆転を許す。この間に栗原も接近し、三つ巴のトップ争いが演じられたのは、ほんの一時だった。

EAST & WEST SERIES ROUND 5 最後まで「全力」

「怪物」とも言われた牧野任祐が東西ともに王座を決めて開催された2015シーズンの最終戦盛り下がるところか、東西ともに熱く激しい戦いがコース上で繰り広げられることになった

Text: はた☆なおゆき (Naoyuki Hata)
Photo: 米重有三 (Yuzo Yoneshige) / 高木翔子 (Shoko Takagi)



#11 牧野 (上) は最後まで全力、有終の美を飾った。西日本最終戦のA1は金子 (左) が制す。NATS (右上)、東京工科大学自動車大学など学生チームが健闘した1年だった (右)。



西は牧野が独走

鈴鹿サーキットの東コースを舞台とする西日本シリーズ最終戦には連勝を重ねてきた牧野が参戦。予選では栗原が長らくトップをつける一方、その牧野は5番手にとどまっていた。不調なのかと思われたが、実際には「時が熟すのを待っていた」だけだった。いざアタックをかけると栗原を上回ったばかりか、コンマ8秒もの差をつけてピットに戻ってきた。3番手には今井龍太が、そして4番手にはA2クラストップの塚田光彦がつけた。

決勝では牧野が好スタートを切ったのに対し、栗原はクラッチミット後の加速が鈍り、今井の先行を許していた。そのこともあり、トップの牧野はオープンニン

鈴鹿サーキットの東コースを舞台とする西日本シリーズ最終戦には連勝を重ねてきた牧野が参戦。予選では栗原が長らくトップをつける一方、その牧野は5番手にとどまっていた。不調なのかと思われたが、実際には「時が熟すのを待っていた」だけだった。いざアタックをかけると栗原を上回ったばかりか、コンマ8秒もの差をつけてピットに戻ってきた。3番手には今井龍太が、そして4番手にはA2クラストップの塚田光彦がつけた。

グの1周だけで1秒8ものリードを確保。その後もアクセルを緩めることなく周回を重ねていった。後方では今井を追いかけた栗原が9周目の2コーナーでインを刺し、2番手に浮上する。そして4番手をアルミクラスの金子昌広と久保宣夫が争うもこちらは最後まで逆転の機会が生まれず、金子が1秒ない僅差で先にチェッカーを受けることになった。

23週のレースで牧野はびつたり23秒もの差を栗原に対してつけ、F4で出場した9レースすべてを制覇。チャンピオンを決めてなお、アクセルを緩めずその強さをF4史上に刻んだ。「この調子で12月のF4日本一決定戦も絶対に勝ちます！」という言葉が、極めて現実味を帯びてきた。その日本一決定戦は、鈴鹿クラッシュの最終戦と併せて12月5〜6日に鈴鹿サーキットで開催される。

EAST SERIES ROUND 5

●9月26日 ●富士スピードウェイ ●曇り/セミウエット→セミドライ ●15周

Pos	No	Class	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	72	C	金井亮忠	チームNATS・正義001	NATS001	26'16"514
2	10	C	加藤 智	FEEL・RK01・TODA	RK01	+0'363
3	82	C	栗原正之	テクノハヤブサリターンズ	RD10W	+6'879
4	3	C	中山雅佳	HITACHI BM RK01	RK01	+15'882
5	34	C	早坂公希	CMS☆MC090	MC090	+17'218
6	27	C	SYUJI	B-MAX・RK01・TODA	RK01	+1'05'419
7	19	A2	ハンマー伊澤	Sウイング☆ハンマーレビュー	WEST056	+1'10'538
8	22	A2	池島実紅	東京工科大学自動車大学	WEST006	-1Lap
21	A2	相馬智宏	東京工科大学自動車大学	WEST006	DNS	
24	C	吉松晴雄	YDS&WCV RK01	RK01	失格	

WEST SERIES ROUND 5

●10月18日 ●鈴鹿サーキット東コース ●晴れ/ドライ ●23周

Pos	No	Class	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODIE・制動屋・ルーニー・MYSTJSS	KK-ZS	19'17"995
2	82	C	栗原正之	テクノハヤブサリターンズ	RD10W	+22'820
3	3	C	今井龍太	B-MAX・PARABOLEエンドレス	RK01	+25'452
4	35	A1	金子昌広	高宮商事ミストKK-ZS萬店	KK-ZS	+36'731
5	77	A1	久保宣夫	セレクトジャパン☆MYST・制動屋KKA	KK-A	+37'284
6	44	A2	塚田光彦	東海電装ウエスト-sprint関口056	WEST056	+46'153
70	C	岡本武之	ヤマゲン証券☆セノーテキャピタル☆MC	MC090	-23Laps	